

<テーマ> 児童同士の疑問を基にし、グループで学び合えるよう工夫した取組

(白石市立白石第一小学校)

### 1 実施単元

『整数の性質を調べよう』 [ 東京書籍 5年上巻 p78～91 ]

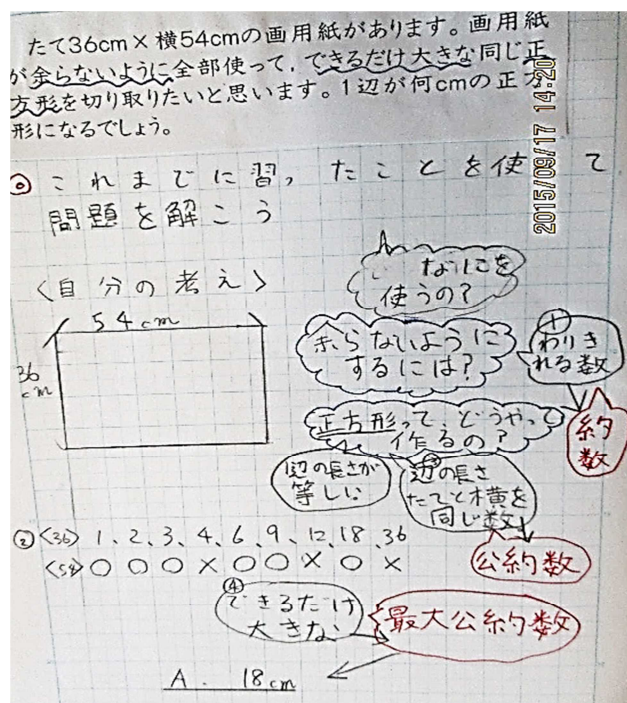
### 2 単元のねらい

偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深めるとともに、整数の見方や数についての感覚を豊かにする。

### 3 指導改善の手立て

自力解決の際に「吹き出し」を使って、自分の考えをノートにまとめさせる。分かっている内容(丸形)と分からない内容(モクモク形)の吹き出しの形を変え、机間指導しながら児童の疑問点を集めていく。(図)

集団解決では、子どもたちの疑問点から本時の学習のポイントとなる内容をピックアップし、全体で解決していきけるようにしていく。机間指導の際には、集団解決で解決すべき内容の答えを分かっている児童がいないか確認し、意図的指名をしながら学習を進めていく。



(図) : 「吹き出し」を用いたノート

### 4 指導の実際

約数や公約数の考え方をどのように活用すればよいのか、「正方形だから縦と横の長さをそろえるといいかもしれない・・・。」「できるだけ大きな(正方形)だから、最大公約数の考え方がつかえるかも・・・。」といった点に着目できるようなヒントとなる声掛けや教具の工夫が必要であった。

また、終末段階では、ペアで説明させる活動を行い、約数や公約数の考え方が適用できることを確実に理解したかどうか確認する活動を行うことができた。(図2)



(図) : 考えを説明し合う児童の様子